

予算特別委員会

歳入

問 今年度、ダム交付金680万円減額したが減額はいつまで続くのか。

答 税務課長 償却資産の関係で今後も変動していく。

問 森林環境譲与税はどのように活用するのか。

答 農林建設課長 道ばた林業などの総合的推進事業に活用する。



歳出

民生費

問 シルバー人材センターは人員不足ではないか。

答 現在2名体制で運営している。1名退職予定なので補充をしたい。

農林業費

問 電気柵購入の内訳は。

答 湯原513m、峠田1237m、滑津1901m、関4608m、長老10226m合計18485mです。

商工費

問 スキー場リフト修繕の内容は。

答 第1ペアリフトと第3ペアリフトの油圧ユニットの更新、及び第2リフト第3リフトの緊張シリンドラー分解修理。

問 南蔵王遊歩道設置の内容は。

答 長老湖から平和記念公園まで538mを新設する。

消防費

問 音声翻訳機購入の目的と台数は。

答 最近、外国の人がふえてるので、災害などで利用する。通常は窓口で利用する。2台購入予定。

公債費

問 公債費が増え、税収入が伸び悩んでいるが、今後の財政対応は。

答 元金償還が主であるが、今年度以降は残額を減少していく。起債は有利なものを活用したい。

公共下水道費

問 老朽化した下水道管路に対する調査、修繕の計画は。

答 補助金の制度上、同時に複数の計画はできない。今年度は浄化センターの※ストックマネジメント計画を策定する。

※ストックマネジメント計画とは
長期的な視点で下水道施設の今後の老朽化等のリスクを評価し修繕・改築等の優先順位を検討し、施設管理を最適化するための計画。

予算特別委員会委員長報告（抜粋）

本委員会は、3月10日から11日までの実質2日間にわたり開催し、執行部からは、町長以下会計管理者及び各課長並びに課長補佐などの出席を求め、予算の全般的な内容について詳細に審査を行いました。

本委員会は、一般会計予算並びに8特別会計予算について妥当なものと同認原案のとおり可決しましたが、各委員からはダム交付金など税収入の減る中で、依存財源比率の高い町の財政執行に対する自主財源の確保や基金残高に対する意識の強化。また、各事業執行においては、空き家対策や有害鳥獣対策、公立刈田総合病院など近隣市町との病診連携の強化、農地整備に伴う荒廃農用地増加への対応、木材チップ生産施設の整備に向けた調査など幅広い意見がありました。

以上の点から、予算執行にあたっては、「攻めの政策」と「守る政策」のバランスをしっかりと見極め、適切な行政執行を求めること申し添え報告と致します

予算特別委員会委員長 吉田 修

定例会追加提案

補正予算（第7号）

〔提案理由〕

白石市外二町組合（刈田総合病院）に対する貸付金を処置するため。
金額 8800万円

問 五十嵐 敏夫 議員

刈田病院の財政問題はどこまで経費が掛かっていくのか。

答 町長 約13億6千万円の赤字であるが、償還が大きな負担になっている。財政問題について今後も協議を重ねていきます。

全員協議会（刈田総合病院の重点支援区域及び借入のお願いについて）

3月10日に刈田総合病院院長及び事務部長より、今回の借り入れの件と※重点支援区域指定についての説明を受けました。

問 医療サービス低下を防ぐ方法は。

答 人員の確保が必要であり、自治体の支援や刈田総合病院がなくてはならないという住民の声が必要である。

問 今回の貸付金の3市町の割合は。

答 白石市86・7%、蔵王町8・0%、七ヶ宿町5・3%となっている。

※重点支援区域とは
病院機能の再編・統合を国から財政的・技術的支援を受けて行うこと。